

Welcome to Library

図書館へ



中央図書館 ☎23-4946
赤羽根図書館 ☎45-3426
渥美図書館 ☎33-1114

よくよむ
図書館HP



ホットニュース Hot News

◎図書館が読書をサポートします

図書館では、自分で本を読むことや図書館に来ることが難しい方にも読書を楽しんでもらえるようサポートしています。

例えば、耳で聞いて楽しむ「録音図書デージー」は、高齢になり活字を読むことや、本を持つことが困難な方も利用できます。

音訳ボランティアが作成した「録音図書」は、現在250冊程あり、録音図書を再生する機械(プレクストーク)を貸し出しています。障害者手帳を持っていなくても、病気などで本が読みにくくなった方や、

手のしびれ・まひ・震えなどで本のページがめくりにくい方もご利用いただけます。障害の程度などにより、受けられるサービスが異なります。どうぞ、お気軽にご相談ください。



▲録音図書デージー

オスナの本



愛知四国霊場の旅

大塚耕平/著 中日新聞社

ご存じですか？愛知県はお寺の数が日本一。愛知県内の霊場の由緒や歴史、地図などが分かりやすく掲載された1冊です。



三省堂国語辞典から消えたことば辞典

見坊行徳・三省堂編修所/編著 三省堂

かつて辞書に載っていて、消えてしまったことばを集めたこの本。中にはよく使っていた言葉もあり、複雑な気持ちになります。

History Inquiry Club **其の239**

歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720
吉胡貝塚資料館 ☎22-8060
渥美郷土資料館 ☎33-1127

博物館HP 博物館インスタグラム



西洋式砲術を田原に伝えた村上範致

村上範致(定平)は文化5(1808)年に現在の田原市田原町で生まれました。武芸に秀でていたこと、意志が強いことが評価され、藩主の四男で蘭学者でもあった三宅友信の近習となりました。

友信が所有する膨大な蘭学書を読む機会に恵まれ、範致は銃砲術に強い関心を抱くようになります。また、江戸を訪れた際、幕臣の江川英龍らと共に砲術の研究をするようになりました。

やがて、範致らは長崎へ赴き、優れた西洋式砲術家である高島秋帆から西洋式砲術を学びました。天保12(1841)年

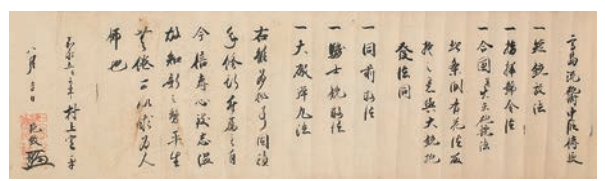
5月には、秋帆が徳丸ヶ原(現在の東京都板橋区)で行った砲術訓練にも参加しています。この



▲「高島四郎太夫砲術稽古業見分之図」(部分)板橋区立郷土資料館蔵

時期、蛭社の獄により田原で蟄居していた渡辺華山は、範致が高島秋帆に入門したことを聞き、心から喜んだと伝わっています。

翌年、範致は田原へ戻り大砲と砲弾を鑄造し、次の正月には、藩主三宅康直の前で砲術を披露しました。その後、範致は田原藩へ高島流砲術を導入することに尽力するとともに、藩校成章館で多くの藩士に砲術を指導しました。



▲村上範致「高島流砲術中位伝授」田原市博物館蔵

やがて、江戸幕府の高島流砲術の世話役に就任しましたが、明治新政府から田原藩の大参事に任命され、再度田原に戻り田原藩の藩政を担いました。明治5年に死去し、今は蔵王霊園の墓で眠っています。(学芸員 三宅良宜)